

第108回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年2月1日(火) 16:00~17:05	場所	WEB
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、柿崎環境部長、梅原企画政策課長、内野職員課長、畑野人事制度等担当課長、石原健康課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、穂山地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナワクチン接種について 2 新型コロナウイルス感染症への市の対応 3 まん延防止等重点措置について 4 陽性者・濃厚接触者について 5 各部連絡事項 			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会全員協議会報告事項 ・新型コロナウイルス感染症への対応状況（令和4年1月の状況） ・新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に関する公示の全部を変更する公示 ・新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針 ・小金井市の新型コロナウイルス感染症に関する公表の考え方 ・新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について ・小金井市内介護事業所における新型コロナウイルス感染について ・まん延防止等重点措置の間、市立中学校での選択的オンライン授業の実施を求める要望 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置が2月13日までだが、東京都の病床利用率が48%を超えている。当初は50%を超えた場合、都として緊急事態宣言を要請するとの基準だったが、重症者の状況等総合的な判断が入るとのことで、総理は現時点では緊急事態宣言の検討は行っていないとの発言が報道されている。状況が一変することもありうるため、政府や都の動向に注視し、小金井市として感染予防とワクチン接種に全力を挙げていく必要がある。 ・小金井市内の感染状況は、このところ100人台が続き、1月31日の新規感染者が84名、累計3,281名となっている。現在の療養者は777名であり、毎週増加している。健康課においては問合せや対応に苦慮していることと思うが、引き続き生活支援物資の支給やパルスオキシメーターの貸与、買い物代行サービス等、全力で自宅療養者への支援をお願いしたい。 ・コロナのワクチンの3回目接種について、小金井市では本格的に実施が始まり、先週の日曜日の段階で3回目接種者数6,669名。今後もさらに増える予定。2月5日に2万9千人 				

分の接種券を送付し、旧西友ビルを活用したワクチン接種も始まっていく。

- ・ 2月3日には全員協議会を開催する予定。1月29日にはオミクロン株への感染予防、3回目ワクチン接種についてということで市長メッセージを発信した
- ・ 学校や保育園、高齢者施設といった関連施設で感染者が増えている。濃厚接触者の待機期間の短縮（10日→7日）と変更された。また、都内では50歳未満の新規要請者の健康観察については自ら行うこととなった。そのための「うちサポ」というサポートセンターが導入される等、対応が大きく変わっているため情報共有させていただく。
- ・ 必要な予算、施策について、常に絶え間なく検討している状況かと思われる。このコロナ過で必要なものは躊躇なく判断していく。

1 新型コロナワクチン接種について

(健康課長)

- ・ 子育て関係施設従事者の優先接種について、通知文書を昨日各主管課に発送を依頼済み。
- ・ 全員協議会用の資料でコロナワクチンの3回目接種の状況や今後の考え方についてまとめたものを出させていただく予定。

(市長)

- ・ ざっくりで構わないが、子育て関係施設の優先接種について、対象者は何人か？

(子ども家庭部長)

- ・ 1500前後かと思われる。

(学校教育部長)

- ・ 770名ほど。

(福祉保健部長)

- ・ 各部局においても感染者や濃厚接触者が出ている。BCPの話も出ているが、ワクチン接種を最優先としていくので、健康課長及び新型コロナウイルス感染症対策担当課長においては、不測の人事がある場合については対応をお願いします。

2 新型コロナウイルス感染症への市の対応

(健康課長)

- ・ (資料)「新型コロナウイルス感染症への対応状況（令和4年1月の状況）」、「市議会全員協議会報告事項」について説明。また、買い物代行が昨日1件対応した。
- ・ 資料「新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について」に示されているとおり、濃厚接触者やエッセンシャルワーカーの自宅待機期間が見直されているため、ご確認いただきたい。

(子ども家庭部長)

- ・ 保育園はすでに7日間の待機期間で対応している。エッセンシャルワーカーの待機期間だが、実際はマスク着用のため職員同士で濃厚接触というケースはほぼないこと、検査費用が

事業所負担であることから、費用負担の検討が必要なことや予算化もしてないといったことから、現状は7日間の待機期間で対応している。

(福祉保健部長)

- ・買い物支援が1件出たということだが、まだ周知が行き届いていない部分も考えられるため、全員協議会でも周知を図っていく。ニーズが増えて健康課職員で対応が難しくなったら福祉保健部で対応、それでも難しければ全庁的な対応としていきたい。

(市長)

- ・買い物代行等の情報共有についてテレビや新聞といったメディアでも取り上げられており、わりと注目されている。引き続き丁寧な情報発信に努めてほしい。

3 まん延防止等重点措置について

(健康課長)

- ・変更の公示について、資料に示されているので確認願います。

(市長)

- ・施設に関して、特に混乱なく運用できているか？

(生涯学習部長)

- ・特に混乱もなく、問合せもない。

4 陽性者・濃厚接触者について

(広報秘書課長)

- ・公表の考え方の改訂について資料を基に説明。
- ・オミクロン株の急速な感染拡大に即し、現状を踏まえて改訂するもの。承認していただければ速やかに公表・運用していきたい。

(総務部長)

- ・基本的には今まで公表していた対象を変えず、公表する内容を整理したと理解している。そのなかで、公表するものは議会へ情報提供するが、そうでないものについては情報提供しないという整理でいいのか？

(広報秘書課長)

- ・そのような整理でいいかと思えます。

(議会事務局長)

- ・ホームページに載せるものは情報提供するということでもいいか？

(子ども家庭部長)

- ・子ども家庭部については数も多いため議会への報告はしていないものもある。

(議会事務局長)

- ・議会に報告してもホームページに載せていないものもある。統一感のある運用のためにもう少し整理が必要なのでは。

(環境部長)

・うちもホームページには載せているが、議会に報告していない案件がある。

(学校教育部長)

・先日、学校の感染者の公表について、議会へ報告をしない旨各会派を回って説明し、了承いただいた。

(総務部長)

・運用を統一したほうがいい。

(子ども家庭部長)

・休園情報は保護者へお知らせする必要があるためホームページを活用している。

(福祉保健部長)

・セクションに応じて良かれと思う方法をとってもらうのが良いのでは。できる限り議会と共有するスタンスは持ちつつ、本来業務に影響が出るようであれば議会に説明し、了承を得る方向で調整するといったものに内容を調整するのはどうか。

(議会事務局長)

・もともとは公表やプレス事務の煩雑さから出た話だと思うので、もう少し整理したうえで議会とご相談いただければと思う。

4 各部連絡事項

(教育長)

・学校や児童施設等への優先接種に尽力いただきありがとうございます。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

・子育て関係施設の優先接種の予約受付がはじまっており、順次接種していく。

・5-11歳のワクチン接種開始時期について詰めている。3月の2週目には始められるが、もう一週早められるかどうか都と詰めているところ。

(職員課長)

・1月末までの職員のコロナ要請者数が9名。本日1名出ており、計10名の陽性者が出ている。濃厚接触者等の職免の相談件数は20人程度の相談がある。

・待機期間、プレスの公表については本部で決まったことで対応していく。

(市長)

・コロナが原因で欠勤している職員の数は？

(職員課長)

・すべてを追い切れていないが、15~20名は自宅待機となっていると思う。

(以上)